

東日本郷土講習会

ふるさとを守る郷土の唄や踊り、和太鼓を生きる力に！

映画「盆唄」の地元 福島で、映画で演奏された新作演目「さくら」、伝統の「双葉盆唄」を覚えよう！
二日目午後の被災地視察ツアーに参加しよう。現場を見て初めてわかる・感じる事が沢山あります。

和太鼓講習 新作演目「さくら」・伝統盆唄「双葉盆唄」

講師：標葉（しねは）せんだん太鼓保存会 募集人員：40名

※「さくら」(①②)「双葉盆唄」(③～⑦)の両方を選択してください。

大太鼓・締め太鼓は初心者・経験者 みんなが参加できます。篠笛は経験者。

①「さくら」宮太鼓（大太鼓）コース ②「さくら」締め太鼓コース

③「盆唄」宮太鼓 コース

④「盆唄」締め太鼓コース

⑤「盆唄」篠笛（7本調子）コース

⑥「盆唄」唄コース

⑦「盆唄」踊り コース

うたごえ新聞3月20日号1面掲載の映画「盆唄」をご覧になりましたか？今年は、「盆唄」の主人公、標葉せんだん太鼓保存会の横山久勝さんと保存会のみなさんから、映画の中で流れる新作太鼓演目「さくら」と、保存会が守り継ぐ伝統の「双葉盆唄」を伝授いただきます。講習場所は、標葉せんだん太鼓の地元福島（広野町）、バスを仕立ててみなさんで参りましょう！

講習では、長引く避難で存続の危機にある郷土の伝統「双葉盆唄」を復活させた思いを伺い、「郷土芸能」の持つ力、復興への思いを学びましょう。二日目の午後には原発事故から8年目を迎えた双葉町の視察ツアーを予定しています。

◆標葉せんだん太鼓保存会プロフィール◆

福島県の浜通りに位置する双葉町に平成4年結成。
東北大会出場3回、幕張メッセでのコンテスト2回連続優勝、太鼓の甲子園と呼ばれる岩手県陸前高田の全国太鼓フェスティバル3回出場、また毎年相馬野馬追祭りの一つとして行われる、せんだん太鼓の野外コンサートは、大勢のお客様に好評を頂いております。今は創作太鼓ですが、後継者を育て活動を続けていけば、いずれは伝統太鼓と呼ばれる日が来ると信じて頑張っています。

（写真の演奏は「さくら」ではありません）

2011.3.11、未曾有の東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故で、「技」を伝える場所がなくなってしまったことは、全く残念でなりません。震災後は、メンバーの多くが県内外の多方面に避難、練習も満足にできない状態が続いています。

しかし、今まで育ててきた「せんだん太鼓」の灯を簡単に消すことはできません。いつかふるさと双葉の練習場で、再び皆で一緒に太鼓を打つ日が来ることを信じて、頑張っています。（標葉せんだん太鼓HPより抜粋）



標葉せんだん太鼓 HPより



被災地視察ツアー(7/14 午後)

視察地：富岡町(予定)

チャーターバスで案内ガイドといっしょに被災地をめぐり、直接現場を視察します。現地を見てわかること、東日本大震災の実態・原発事故の現状を垣間見ることができます。

せんだん太鼓のみなさんの思いを肌で感じ、復興への思い、今できることは何かをみなさんで考えていきましょう。

日時：2019年7月13日（土）～14（日）

会場：福島県双葉郡広野町中央体育館

福島県双葉郡広野町中央台一丁目1(常磐線広野町駅下車徒歩10分)

主催：日本のうたごえ全国協議会/
東日本郷土講習会実行委員会

東京都新宿区大久保 2-16-36 TEL:03-3200-0106 FAX:03-3200-0193

